

# 「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」 会津地方かわら版

会津地方推進本部(福島県会津農林事務所)

令和3年12月20日(月)発行

## 目次

### ○ 会津農林事務所の取組紹介

- ・ 経営体育成基盤整備事業 槻ノ木地区の竣工式が行われました
- ・ 第17回会津アスパラガス生産振興大会が開催されました
- ・ 地方植樹祭が開催されました
- ・ 奥会津物産フェアを開催しました
- ・ 新規就農者等研修会を開催しました
- ・ 「ふくしま農村学びの場」事業(会津方部現場見学会)を実施しました
- ・ 会津桐玉植苗の植樹祭を実施しました
- ・ 令和3年度会津地方家畜人工授精技術向上研修会を開催しました
- ・ 水土里を育む普及促進事業で「戸ノ口堰洞門くぐり体験学習会」を実施しました
- ・ 高校生林業見学会を開催しました
- ・ 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました



雪化粧の磐梯山

### ○ 会津農林事務所からのお知らせ

- ・ 野生きのこのモニタリング検査及び加工品の安全確認をお願いします

## 会津農林事務所の取組紹介



### 経営体育成基盤整備事業 槻ノ木地区の竣工式が行われました

令和2年度に工事が完了した経営体育成基盤整備事業「槻ノ木地区」の竣工式が令和3年11月18日に会津若松市河東町倉橋地内にて執り行われました。

当日は地元関係者、工事関係者、会津若松市、会津農林事務所など約30名が出席し、記念碑の除幕や関係者への感謝状贈呈が行われました。

当地区は平成27年度に採択されてから令和2年度まで6年の歳月と7億7,100万円の事業費をもって、46.4ha(地区面積)を整備しました。

今後は都市近郊の立地条件を生かし、担い手の育成を行いながら、他地区の模範として営農していくことを期待します。



記念碑除幕の様子



会津農林事務所長祝辞の様子  
(岡崎次長代読)

【農村整備部】

## 第 17 回会津アスパラガス生産振興大会が開催されました

令和 3 年 11 月 22 日に J A 会津よつばパストラルホールにおいて、会津よつば農業協同組合主催（会津農林事務所共催）のアスパラガス振興大会が開催されました。

酪農学園大学の園田高広教授を講師に「アスパラガス増収のポイント～2021 年現地調査を踏まえて～」と題して講演が行われました。光合成にポイントをおいた、かん水、施肥、整枝、病虫害防除等の技術について説明がありました。

また、J A の宮下アスパラガスキャップより、昨年 12 月に実施した九州産地の視察報告、最後に福島県農林水産部園芸課の木村氏より、昨年 11 月から 1 月にかけて実施したアスパラガス生産者へのアンケート結果報告がありました。

アスパラガスは、会津地方の主要品目で、県の園芸振興プロジェクトに位置づけられています。さらなる産地拡大・生産力強化等に向け関係機関で連携し、推進してまいります。

【農業振興普及部】



## 地方植樹祭が開催されました

会津地方では、緑化への意識の向上や、自然豊かな森林を守り育て、将来へつなげていくことなどを目的に、各地で地方植樹祭が開催されました。

北塩原村では、令和 3 年 10 月 19 日に北塩原村と会津耶麻地方緑化推進委員会による「第 11 回会津耶麻地方植樹祭」が北塩原村保健センターで開催され、村民等約 60 名が参加し、オオヤマザクラ 18 本を植樹しました。

また、会津若松市では、10 月 20 日に国土緑化会津若松市推進委員会による「第 70 回植樹祭」が扇町 1 号公園で開催され、市民等約 90 名が参加し、イロハモミジ 17 本を植樹しました。

さらに、喜多方市では、10 月 21 日に喜多方市と市緑化推進委員会による「きたかた豊かな森林づくり」が熱塩加納宮川公園で開催され、市民等約 50 名が参加し、ソメイヨシノ 5 本、ヤマザクラ 5 本を植樹しました。

植樹を通して参加者が、森林の役割や働きを理解し、緑化の重要性を再確認することで、森林を守り育てるきっかけとなったように思います。



第 11 回会津耶麻地方植樹祭  
(北塩原村)



第 70 回植樹祭  
(会津若松市)



きたかた豊かな森林づくり  
(喜多方市)

【森林林業部】



## 奥会津物産フェアを開催しました

企画部では、奥会津地域の食や自然、風景などの地域資源をPRすることで、6次化商品の販路拡大と観光誘客につなげるため、5年前から『奥会津物産フェア』を開催しています。今年はイオンいわき店で初開催するなど、県内の方に奥会津の魅力を広くアピールしました。

### 【in 福島】

令和3年10月16日（土）～17日（日）にイオン福島店において開催し、10事業者の商品を販売しました。奥会津物産フェアでは初登場となる会津地鶏や、メディア掲載商品も多数販売され、活気にあふれたフェアとなりました。また、昨年も大好評だった只見線ジオラマには、ちびっ子だけでなく大人も夢中になっていました。



### 【in いわき】

翌週の10月23日（土）～24日（日）はイオンいわき店で開催しました。当初9月予定だった日程を延期し、6事業者が参加しての実施となりましたが、来場者はいわきでは珍しい奥会津の特産品を買い求めていました。2日目には売り切れてしまう商品もあり、盛況のなか終わることができました。ご来場くださった皆様、誠にありがとうございました。



HP アドレス：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36240a/okuaizu2021.html>



## 新規就農者等研修会を開催しました

会津農林事務所では、新規就農者及び就農希望者の資質向上を目的に、6回シリーズの研修会を開催しています。令和3年11月25日に第2・3回の研修会を開催し、20名の新規就農者が参加しました。

今回の研修会では、「農業経営のポイント」、「アグリノートを活用した農場管理」、「地域の農地を守る営農の展開」、「近未来の農業・農村を考える」の4テーマについて5名の講師の先生に御講演いただきました。

参加者からは、「農業経営の視野を広げることができた」、「足元をしっかりと固めながら行動していきたい」、「地域の農地維持のため、自分ができることを考えなければならないと思った」などの意見が聞かれました。

今後も新規就農者の安定経営の確立に向けて、引き続き関係機関と連携しながら支援してまいります。



内藤税理士による講演  
(農業経営のポイント)



福島大学農学群食農学類長 生源寺教授による講演  
(近未来の農業・農林を考える)

【喜多方農業普及所】



## 「ふくしま農村学びの場」事業(会津方部現場見学会)を実施しました

令和3年11月6日に、「ふくしまの農村学びの場」事業を活用して、農村振興課と会津農林事務所による現場見学会を実施しました。

この事業は、「ふくしまの農育」推進事業のメニューの1つで、農業に欠かせないダムや頭首工などの土地改良施設の成り立ちや、農地の区画整理を行うほ場整備を学ぶことにより、これらの施設の様々な機能や役割について理解を深めることを目的としています。

当日は会津若松市や郡山市の小中学生と保護者計21名が参加しました。

農業用水を貯める役割を担う新宮川ダム、農業用水を取水する頭首工の更新工事を行っている栗村堰地区、水田の大区画化工事を行っている高野地区の順で見学しました。

参加者からは、「初めてダムを間近で見た」「建設機械に実際に触れられて楽しかった」「工事現場の説明が興味深かった」といった感想が寄せられました。



新宮川ダム



栗村堰地区



高野地区

【農村整備部】



## 会津桐玉植苗の植樹祭を実施しました！

福島県下郷町大内宿において令和3年11月18日に会津桐玉植苗の植樹祭を実施しました。

福島県の桐の生産量は全国1位を継続しており、そのほとんどが会津地方で生産されています。

一方、平成23年に県内唯一の桐苗の生産者が廃業して以降は、生産者不在の状況が続き、継続的な資源の確保が課題となっていました。

そこで、森林林業部では令和元年度よりプロジェクトチームを結成し、林業研究センターが開発した新たな桐苗生産技術（玉植苗）をもとに新規桐苗生産者の育成を図る等、地域と一体となった会津桐の資源確保の取り組みを進めてきました。

今回の会津桐玉植苗の植樹祭を主催した会津桐植栽イベント実行委員会は、福島県林業振興課と会津里山森林資源育成研究会（プロジェクトチームに参加している新規桐苗生産者が令和3年に結成）で組織されています。

植樹祭当日は、天気にも恵まれ、研究会員である会津農林高等学校の生徒が地元の小学生や大内地区の方の植樹をサポートする等、終始和やかな雰囲気で行われました。

今後も、減少しつつある会津桐の資源の確保や会津桐を活用した緩衝帯整備、新たな観光資源としての活用（会津桐の花咲く里山風景の再生）を図ること等を目的に、オール会津で、地域と連携した取り組みを広げてまいります。

【森林林業部】



## 令和3年度会津地方家畜人工授精技術向上研修会を開催しました

令和3年11月16日、会津地方の次代を担う繁殖、酪農経営をしている生産者14名を対象に、喜多方市の（株）五十嵐ファームにおいて、NOSA | 福島会津家畜診療センターの和田先生と花積家畜医院の花積医院長を講師に、家畜人工授精の技術向上を目的とした現地研修会を実施しました。

和田先生から、今年度北里大学で開発された「ウシ卵巣モデル」を活用して、卵巣の生育ステージや授精適期等の講演をしていただき、生産者は卵巣モデルを触診し、触感や大きさを確認しました。

和田先生及び花積医院長から、牛生体への直腸検査とエコー診断により、卵巣の状態を説明していただくと共に、生産者に直腸検査を実施してもらいました。

生産者からは実践に即した実技研修があり、大変勉強になったと好評でした。来年度も引き続き同研修会を開催していきたいと思っております。



【農業振興普及部】



## 水土里を育む普及促進事業で「戸ノ口堰洞門くぐり体験学習会」を実施しました

水土里を育む普及促進事業を活用して戸ノ口堰土地改良区が事業実施主体となり、地元小学生を対象とした洞門くぐり体験学習会を実施しました。

令和3年10月12日午前に湯川村笈川小学校4年生15名、同日午後には会津若松市湊小学校4年生15名、10月27日午前に会津若松市一箕小学校4年生102名が参加しました。

始めに、土地改良区職員が農業用水の使われ方や洞門の歴史、水資源の重要性などについて説明を行い、次に、止水した水路の中に入り洞門くぐりを体験しました。

参加した児童たちは貴重な体験を通して、農業用水路を管理する役割や水の大切さなどについて理解を深めることができました。



土地改良区職員の説明



洞門くぐり体験

【農村整備部】



## 高校生林業見学会を開催しました

林業への若者の就業促進のため、林業の現場体験や地元の特色ある産業に関する情報を提供する「高校生林業見学会」を森林林業部主催で実施しました。

令和3年11月10日に実施した耶麻農業高等学校は、「地元の林業に関する仕事を知る・体験する」を目的に、1年生22名を対象に西会津町で行いました。

まず、出ヶ原和紙工房では、西会津町で古くから和紙の原料として使用されてきたヒメコウゾの処理から紙すきまでを行う体験をしました。

次に農事組合法人会津きのこ工房では、菌床しいたけの施設栽培の説明を受け、西会津町森林組合では白炭生産に関する講話と実際に白炭に火を入れる状況を見学しました。

品質の高い炭の場合、燃やしても目が痛くならないこと、服に臭いが付かないこと（料理にも臭いが付きませんので高級な焼き鳥屋等で利用されています）を体験しました。



耶麻農業高等学校



会津農林高等学校

11月19日に実施した会津農林高等学校は、「福島的林業を知る・就職に活かす」を目的に、2年生18名の生徒が古殿町にある水野林業株式会社を訪れました。

古殿町は古くから林業が盛んな地域で、生徒を案内してくれた水野廣人代表は、祖父や父と林業に従事する一方、林業を魅力的な職場とするため家業を法人化し、今年度も新たに2名の社員（うち1名は20代女性）を迎えました。また、林業の現場を身近に感じてもらえるよう、森林でテント型サウナを楽しむ事業も始めました。

生徒達は、水野代表の林業への熱い思いとプロの技に触れ、林業を考えるきっかけとなったように思います。また、今後は、水野代表よりプレゼントされた丸太等を使った名刺作りを行う予定です。

【森林林業部】



## 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました

令和3年10月30日・31日、11月3日、また、11月13日・14日に「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

当日は、県産農林水産物や有機農産物、GAPのPRを行い、来場者にはプレゼントを配布しました。今後もイベント等を通して、県産農林水産物等のPRを実施していきたいと思えます。

### 第1回

10月30日、31日に「リオン・ドール会津アピオ店」で県中農林事務所・いわき農林事務所との共催で、会津・中通り・浜通りの農林水産物や6次化商品等を販売しました。

また、税込2,000円以上お買い上げいただいた方に6次化商品をプレゼントしました。天気にも恵まれ、好評のうちに終わることができました！



### 第2回

11月3日に「道の駅ばんだい」で開催し、道の駅ばんだいの物産館で税込1,000円以上お買い上げいただいた先着200名に有機栽培米「里山のつぶ」300gをプレゼントしました。

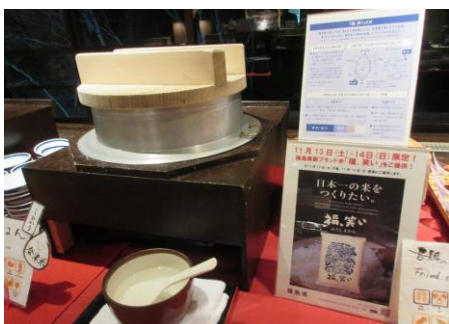
プレゼントは大変好評で、開始1時間半で配布終了となりました！



### 第3回

11月13日・14日に「会津東山温泉 原瀧」で開催し、宿泊者へ福島県新ブランド米「福、笑い」と会津産手打ちそばを夕食時に提供しました。

また、県産農林水産物に関するアンケートを実施し、アンケート回答者へ会津産コシヒカリ300g等をプレゼントしました。宿泊者からは大変喜ばれ、福島県の魅力をPRすることができました。



## 会津農林事務所からのお知らせ



### 野生きのこのモニタリング検査及び加工品の安全確認をお願いします

会津地方においては、表－1の品目について出荷が制限されております。

出荷制限指示等が出されている市町村産のきのこを、出荷販売又は宿泊施設等で提供しないようにお願いします。

また、出荷制限は市町村毎にかけられているため、制限のない品目を出荷・販売する際は、市町村名による産地の表示をお願いします。

#### 【出荷制限のない品目について】

- 1 モニタリング検査等の安全確認を徹底すること。
- 2 乾燥による放射線物質濃度濃縮に注意すること。

#### 【出荷制限品目について】

- 1 制限が解除されるまで出荷・販売できません。
- 2 自主検査で基準値以下であっても出荷できません。（放射線セシウム濃度 100Bq/kg）
- 3 乾燥や水煮などの加工品の原料にも使用できません。
- 4 フリマアプリ等を介した個人売買でも出荷できません。
- 5 他人への無償譲渡もできません。（出荷に含まれます）

表－1 会津管内におけるきのこの出荷制限等の状況（令和3年9月29日現在）

品目	市町村
野生きのこ ※	会津若松市、喜多方市、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、柳津町、三島町、昭和村、会津美里町

※野生きのこについては、以下の品目は出荷制限が解除されましたので、出荷を希望される場合は、事前にモニタリング検査で安全を確認のうえ、出荷を行ってください。

マイタケ：西会津町、柳津町、三島町、昭和村

ナメコ：西会津町、昭和村、会津美里町

ムキタケ：会津若松市、西会津町、昭和村、会津美里町

クリタケ：会津若松市、西会津町、昭和村

※**迷ったら必ずお問い合わせください。**

【問い合わせ先】森林林業部 林業課 TEL 0241-24-5734

※最新のモニタリングや出荷制限等の情報は、次のホームページで確認できます。

◇福島県内のものは、福島県林業振興課のHP (<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/>)

◇福島県外の場合は、厚生労働省のHP ([https://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/shokuhin.html](https://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html))

【森林林業部】

#### 【ご意見・お問い合わせ】

会津地方推進本部事務局  
 (福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課内)  
 〒965-8501  
 福島県会津若松市追手町7番5号(会津若松合同庁舎2階)  
 TEL (0242)29-5369 FAX (0242)29-5389  
 E-mail: kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

